

H26年度 企画展「環境」

かわら ひろ どうしよくぶつ せかい

「河原に広がる動植物の世界」

開催期間：平成26年10月3日（金）～平成27年1月14日（水）

渡良瀬川の河原や堤防には、たくさんの植物や昆虫、色々な鳥や動物たちがすんでいます。昔から変わらないように見える自然の世界ですが、よく観察すると昔はいなかった外来生物や外来植物などがふえています。そのような植物の中には、他の植物を全滅させたり、人間にも悪いはたらきをするものもあります。

今回は、せせらの周りで見られる外来植物の実物展示もおこないました。よく見かける草花が、外来植物だと知って驚く方もおられたようです。大勢の方が見学してくださり、身近な自然を通して環境問題について考えるきっかけとなった企画展でした。

○H26 企画展「環境」開催期間中の入館者数は、1038 人でした。

主な展示内容

● 河原に広がる植物

せせらの周りで見られる外来植物を中心に、他の植物よりもふえている植物を紹介します。ふえる理由と他の植物や私たちへの影響についても説明します。

● 渡良瀬川の生きもの大集合

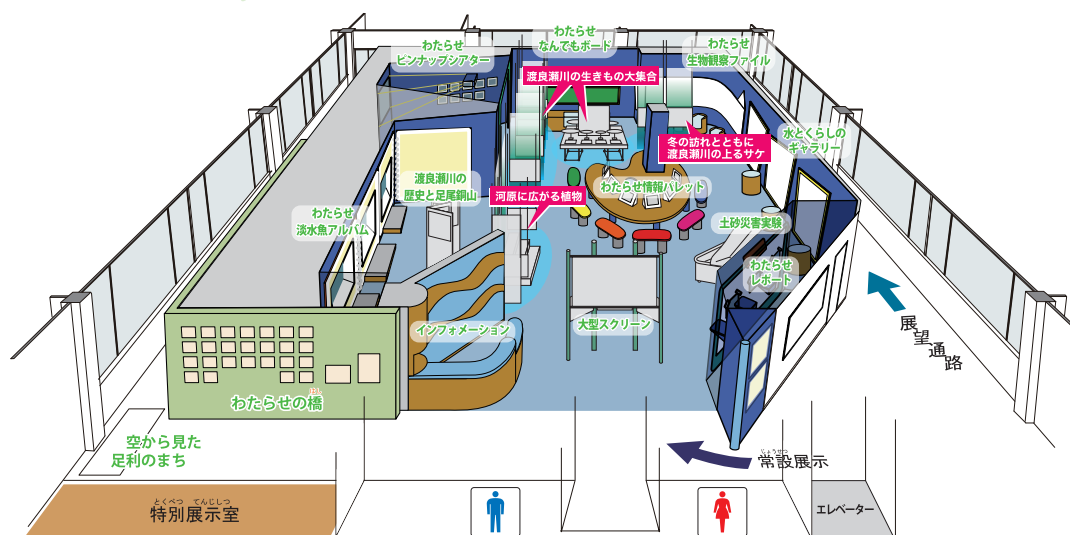
渡良瀬川流域は、上流域から下流域にわたって変化に富み、美しい景色と豊かな自然の宝庫です。そこでは様々な動物や鳥たち、昆虫や川の中の生きものが見られます。上流、中流、下流の生きものたちの「すみ分け」を中心に紹介します。

● 冬の訪れとともに渡良瀬川を上るサケ

今年の秋も渡良瀬川にサケが帰ってきました。でも、サケは昔から渡良瀬川にいたわけではありません。サケが渡良瀬川にやってきた理由や、いなくなった理由、どうしてまた戻ってきたのか、サケの不思議といっしょに紹介します。

● クイズラリー・ワークシート

展示を見ながら、クイズラリーやワークシートに挑戦しよう！





身近な植物でも、知らない種類がたくさんありました



子どもたちも楽しみながらノートを取って見学しています



渡良瀬川で見られるサケや魚、鳥たちを紹介しました



せせらの近くで見られる植物の実物展示



渡良瀬川で見られる魚の実物大の模型